

平成27年度第1回奈良県学校・地域パートナーシップ事業

地域コーディネーター連絡会実施報告

- 1 日時 平成27年6月10日(水) 13:15~16:00
- 2 会場 県立教育研究所 中講座室1
- 3 参加者 県内学校・地域パートナーシップ事業 地域コーディネーター 計 91名
- 4 内容
 - 13:15~13:20 開会
 - 13:20~13:40 ・地域コーディネーター連絡会の設置について
・奈良県学校・地域パートナーシップ事業について
 - 13:40~14:40 講演 「地域の教育力を高めるコーディネーターの役割」
天理大学教授 岡田 龍樹
 - 14:50~15:55 情報交換
 - 15:55~16:00 閉会



5 講演概要

①「コーディネーターの役割」

学校と地域の温度差を調整することが大切である。そのためには、「顔の見える関係づくり」を整え、学校との対話を通して、信頼関係を結んで、良き協力者となることである。

地域との関係では、学校の要請に応えられるボランティアの発掘と次世代への継承は大きな課題である。

「賢く、楽しく、健康に生きる」ことを大切にコーディネーターとして活躍してもらいたい。

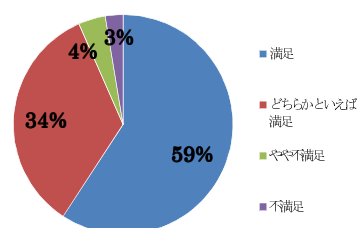
②「コーディネーターに求められるもの」

コーディネーターは活動を楽しんで行うことが必要であり、これは、健康にもつながる。コーディネーターの仕事に重荷に感じてはいけぬ。長く続けるためにも、得意分野でできることをしてほしい。

地域資源(人、団体、ネットワーク、企業等)を探してほしい。地域の長所、短所を把握することが大切で、地域に長らく住んでいると見えなくなってしまう。長所短所を知り、子どもの活動を活かしていく必要がある。



講演内容はいかがでしたか？

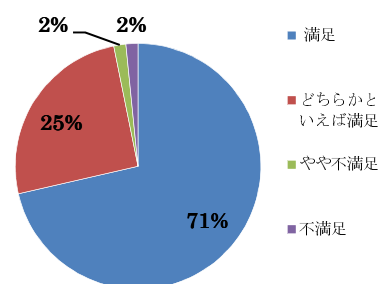


6 情報交換

- ・ 組織づくりについて、先進的な取組についての情報交換ができた。ただ、学校からのニーズが高まってきていて、学習支援に対してはどのようにすればいいのかわからない不安がある。
- ・ まずは、学校の先生方と顔見知りになることが大切であると思う。
- ・ 地域の人たちに学校を見てもらったり、学校が地域のために何かできないか考えたりすることが大切である。



情報交換の内容は、いかがでしたか？



7 感想

- ★ 年2回といわず、もう少しこのような機会を増やしてほしい。(地域)
- ★ 今回の連絡会で行政の目指すもの、学校とコーディネーターのそれぞれの役割について、ある程度理解できた。これを現場段階でどう具現化するのかこれからの活動を通して考えていきたい。(地域)
- ★ いろいろ参考になったのでやっていきたいと思うが、学校からの要請がない限り、こちらからあれしよう、これしようとはいえない。まずは、組織(システム)の確立が大切である。(元PTA・保護者)
- ★ 学校や地域によって取組に特色や格差があることを感じた。連絡会の回数を重ねて、情報交換することは、県全体の事業を推進していくのに必要であると思う。(元PTA・保護者)

研修内容は、今後の活動に活用できるものでしたか。

